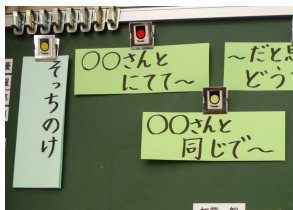


はにい

みんなのことば

2012. 5. 21.



4月、学習が始まったばかりの5年生の教室。黒板の端に、カードが貼ってあります。

「～だと思います」

「〇〇さんとにてて〜」

「〇〇さんとおなじで〜」

これはよくある、先生が提示した発言のお約束、みたいなものでしょうか。

学級担任の大脇先生に聞いてみました。

「いいえ、これは教師から出した言葉ではなくて、子どもたちが出してきた言葉です。この子たちにはこの子たちらしい発表のしかた、反応の言葉がありますから。」

なるほど、みんなの言葉なのですね。この子たちらしい言葉がある。この子たちらしい対話の仕方がある。ここにはここの文化がある。

ところで、となりに貼ってある色の違うカードは？「そっちのけ」って書いてありますが。

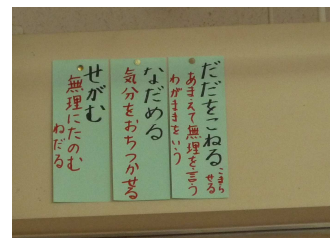
「あ、これは、『日本語だけど僕たちはまだ使っていないようなことば』なんです。」

ああ、これも教室で出てきた言葉なんですね。

「はい、辞書で調べて、あそこにダダダダって貼っていきこうと思っただけ。」

あそこ？ああ、ありました、ありました。まだ3枚ですけど、あれが並んでいくんですね。

「子どもに、先生なんであんな端っこなの、って言われたんですよ。まだ始まったばかりなので。夏までにあそこの柱までいきたいですね。」



「せがむ」「なだめる」「だだをこねる」

教師が子どもたちから受けとった言葉たち。この教室で子どもたちが出会った言葉たちです。言葉は文化。ここはこの子たちの文化センターになるのです。

「せがむ」「なだめる」「だだをこねる」

こうしてみると、日本語っておもしろいですね。

—— [はにいていと] ——

学習とは、「文化的実践への参加」である。（佐伯胖）

神奈川県のみなさまへ

神奈川県教育委員会では、
かながわ元気な学校づくり通信『はにいいい』
を発行することになりました。

目的は、
学校を元気にすること
先生の仕事を受けて
学校に携わる大人たちがしていることを受けて
そして、もちろん子どもたちの育ちを受けて

編集は子ども教育支援課が行います。
取材もします。
ぜひ、情報をください。

できれば写真つきで、
下記までメールをください。文の長さや文体は自由です。

募集用メールアドレス： inochi4027@pref.kanagawa.jp

『はにいいい』への ご意見、ご感想も、ぜひお願いします。

問い合わせ先

神奈川県教育委員会 教育局支援教育部

子ども教育支援課 小中学校生徒指導グループ 岩淵 大森

電話 045(210)8292 FAX. 045(210)8937
